

交通局



交通事業会計要求総額 2,408百万円
(対前年度 +0.8%)

要求の基本的考え方

交通局は

安全運行の確保と利用者サービスの向上
「市営バス事業経営改善計画」の推進
を目指します。

収益的収入		2,337 百万円
収益的支出		2,335 百万円
差引		2 百万円
単年度資金収支		22 百万円

新：新規事業 拡：拡充事業 統：統合事業



バス運行事業

主要事業	要求額(百万円)
バス運行事業	2,335百万円〔業務課・運輸課〕
バス車両定期車体改修事業	26百万円〔運輸課〕
幅広電照式バス停標識設置事業	4百万円〔運輸課〕

バス運行事業

乗合・貸切バス事業

市営バス事業の経営改善を図るため、経費節減・収入の増加に最大限の経営努力を行うとともに、市民・利用者に安全かつ便利で快適なサービスの提供に努めます。

附帯事業(旅行業等)

官公庁、自治会、学校、地元企業など幅広く営業訪問し、職場旅行やバスツアー、車内広告等の受注獲得に努めます。

環境にやさしい運行の推進

家庭から排出された廃食用油をリサイクルした『バイオディーゼル燃料』を一部の乗合バスに使用するほか、信号停止時のアイドリングストップなど、環境に配慮した運行を推進します。

安全運行の確保と利用者サービスの向上

接遇・事故撲滅への取り組みの充実

研修等を通じ、職員それぞれの認識をさらに深めさせ、接遇の向上と事故撲滅に向けた取り組みを強化します。

幅広電照式バス停標識設置事業

夜間バスの利用者の利便性向上を図るとともに、町並みの景観向上にも貢献できるように、バス停標識塔の建て替えを行います。

バス車体改修事業

安全かつ快適な運行を確保し、事故・故障を未然防止するため車両の定期的な改修を行います。

